

特別展示 ボローニャSM出版賞 マリア・ハイドック

「ボローニャSM出版賞」は、BCBFとスペインのSM財団によって2010年に設立されました。イラスト分野の新しい才能を発掘、奨励、サポートすることを目的としたもので、毎年ボローニャ展入選者のうち35歳以下を対象に受賞者が選ばれます。受賞者にはスペインのSM出版から絵本を出版する機会と賞金が与えられます。本展では、2025年に19歳の若さで同賞を受賞したウクライナのマリア・ハイドック(Maria Haiduk)の新作絵本「コツキーさん(El señor Kotsky)」をご紹介します。ハイドックは、子どもの頃に親しんだウクライナの童話を絵本にしました。ボローニャ展から羽ばたく若手イラストレーターの活躍をぜひご覧ください。



Maria Haiduk "El señor Kotsky" (Ediciones SM, 2026)

特別展示 ボローニャ・ラガッツィ賞スペシャル・メンション 『のらねこノラ』『ゴロゴロゴロゴロなんのおと?』

BCBFでは、ボローニャ展のほかにも様々なコンクールや賞を実施しています。そのなかでも著名な「ボローニャ・ラガッツィ賞(BRAW)」は、出版された絵本を対象に、フィクション、ノンフィクションなどの部門ごとに審査が行われます。2026年は日本の絵本が2部門でスペシャル・メンションを授与されました。本展ではそれらの絵本と原画をご紹介します。



オペラ・プリマ部門スペシャル・メンション: すげいずみ『のらねこノラ』(ポプラ社刊)



コミックス(6-9才)部門スペシャル・メンション: 横山裕一『ゴロゴロゴロゴロ なんのおと?』(パイインターナショナル刊)



板橋区では、絵本文化の展開・発信を広く進めています。友好都市であるイタリア・ボローニャ市との交流や、印刷産業が盛んである区の特徴を活かし、板橋区立美術館や板橋区立中央図書館を中心に、板橋区ならではのブランドとして、絵本文化を発信しています。

今後の板橋区立美術館の展覧会予定

8月29日(土)~9月27日(日)
館蔵品展 さっぱり こってり 江戸絵画

11月21日(土)~2027年1月11日(月・祝)
コッライーニとアーティストたちの本づくり(仮称)

2027年3月6日(土)~4月18日(日)
19世紀のやまと絵(仮称)



交通案内

- 徒歩: 都営三田線「西高島平駅」下車約14分
- 路線バス:
 - ①東武東上線「成増駅」北口2番のりば(1時間に1本程度)「増17 区立美術館」由高島平操車場行き「区立美術館」下車
 - ②東武東上線「成増駅」北口1番のりば(1時間に5-6本)「赤02 赤羽駅西口」行き「赤塚八丁目」下車、徒歩約9分
*東京メトロ有楽町線・副都心線「地下鉄成増駅」も利用可(5番出口)
 - ③都営三田線「高島平駅」西口2番のりば(1時間に1本程度)「増17 区立美術館」由成増駅北口行き「区立美術館」下車
- タクシー: 東武東上線「成増駅」北口または都営三田線「高島平駅」西口より約5分



板橋区立美術館
ITABASHI ART MUSEUM

〒175-0092 東京都板橋区赤塚 5-34-27
TEL.03-3979-3251 FAX.03-3979-3252
<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/artmuseum/>



国際絵本
原画展

2026年7/8* → 8/16日

開館時間 9:30-17:00 (入館は16:30まで)
休館日 月曜日、7/21(火) ※7/20(月・祝)は開館
観覧料 一般900円、大学生600円、高校生以下無料
*65歳以上・障がい者割引あり(要証明書)

主催: 板橋区立美術館、一般社団法人 日本国際児童図書評議会(JBBY)
協力: Bologna Children's Book Fair、ポプラ社
Bologna Illustrators Exhibition, curated by Bologna Children's Book Fair / BolognaFiere in partnership with JBBY



板橋区立美術館

イタリア・ボローニャで毎年開催される児童書のイラストレーション・コンクールの入選作品をご紹介します。絵本表現のトレンドや動向を一堂に展観できる本展は、世界中の児童書関係者からも注目されています。60回目となる本年は、世界94の国と地域から4,158作品の応募があり、国籍の異なる5名の審査員による選考を経て、日本を含む33の国と地域から75作品が入選しました。多彩な表現、テーマ、技法からなる作品をお楽しみください。また、会期中には絵本に関する多数のイベントも予定しています。



ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア(BCBF) と イタリア・ボローニャ国際絵本原画展

ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア (Bologna Children's Book Fair / 以下、BCBF) は、イタリア北部のボローニャ市で行われる児童書専門の見本市として1964年に始まり、2026年に63回目を迎えました。BCBFは毎年春に4日間にわたって開催され、出版社による版權の売買のみならず、展覧会や講演会をはじめとするイベントも多数行われ、児童書の新たな企画を生み出す場として世界中から注目されています。

イタリア・ボローニャ国際絵本原画展 (Illustrators Exhibition / 以下、ボローニャ展) は、BCBFに伴って開催される児童書のイラストレーションの展覧会です。1967年から毎年開催されており、1976年よりコンペ形式となりました。出版・未出版を問わず子どもの本のために制作した作品(5枚1組)があれば応募することができます。国籍の異なる5人の審査員は毎年入れ替わり、実験的な試みも積極的に受け入れ、多様性を重視しながら審査が行われます。本展は、イラストレーションの現在や今後の動向、また多様な表現を広く紹介するとともに、新しい才能を見出す機会となっています。



1



2



3



4

講演会・トーク

いずれも定員60名、参加無料、事前申込制
申込方法: 当館ウェブサイトでご確認ください。



トークイベント 「さわる絵本コンクール(トッカ・ア・テ) 2026 審査報告」

7/11(土) 14:00~15:30
※トークイベントの終了後にさわる絵本の展示も予定しています。
講師: 森泉文美 (本展コーディネーター、トッカ・ア・テ審査員) 齋藤名穂 (建築家、デザイナー)

講演会 「わたしの絵本づくり」

7/19(日) 14:00~15:30
講師: 河野ヤラ雅枝 (Yara Kono / イラストレーター、デザイナー / ポルトガル)
通訳: 木下真穂 (ポルトガル語翻訳家)

トークイベント 「タラックスの新しい本とこれから」

7/31(金) 14:00~15:30
講師: 野瀬奈津子 (編集者、ライター) 松岡宏大 (写真家、ライター)

トークイベント 「2026ボローニャ展入選者にきく」

8/2(日) 14:00~15:30
講師: うめだよしの、小野寺美帆、楓真知子、木ノ瀬混、寺澤智恵子 (2026ボローニャ展入選者)

シンポジウム 「ユネスコ創造都市ネットワーク加盟に向けて」

8/7(金) 13:30~16:00
講師: アニー・マーズ (イギリス・ダンディ市) 佐々木雅幸 (静岡文化芸術大学学長) 江坂恵里子 (名古屋市長) 近藤健史 (神戸市長) 後藤哲憲 (旭川市長) 松岡希代子 (板橋区立美術館館長)

トークイベント 「ボローニャ・ラガッツィ賞と日本の絵本2026」

8/9(日) 14:00~15:30
すげいずみ (絵本作家)、小塚加奈子 (ポプラ社)、横山裕一 (漫画家)、關田理恵 (パイ インターナショナル)、松村大輔 (ビエグラフィックス)

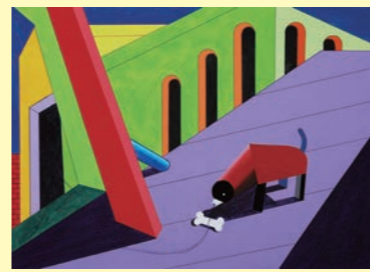
トークイベント 「本でつながる となりの国々 2027年IBBYアジア・パシフィック大会開催に向けて」

8/15(土) 14:00~15:30
講師: 宇野和美 (IBBY会長、翻訳家) 高野直子 (IBBY副会長、編集者) 松岡希代子 (板橋区立美術館館長)

ホントに最後!?

対談 「2026ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア総復習」

8/16(日) 14:00~15:30
講師: 広松由希子 (絵本評論家) 松岡希代子 (板橋区立美術館館長)



5



6



7



8



9



10



11



12



子どもたちに向けて

しかけ絵本をつくろう 「のびるしかけにチャレンジしよう！」

2日間かけて、自分だけの1冊を仕上げましょう。
7/25(土)、26日(日)の2日制 13:30~16:30
講師: 岡村志満子 (グラフィックデザイナー、絵本作家)
対象・定員: 全日程参加できる小学1~6年生・20名(先着)
参加費: 2,500円
申込方法: 7/4(土)朝9時より電話で受付 (板橋区立美術館 03-3979-3251、月曜休館)

こどもアトリエ

絵本作家やデザイナーを講師に、身近な材料を用いて家族でいっしょに工作をしましょう。
①7/20(月・祝) 「くじゃくのmantをつくろう」 講師: スズキトモコ (絵本作家、イラストレーター) ②8/8(土) 「切りぬいた形で絵本をつくろう」 講師: 犬島典子 (デザイナー/10inc.) 時間: 10:00~12:00 / 14:00~16:00 (各1回制) 対象: 3歳から小学生のお子さんとその保護者 定員: 各回12組(先着) 参加費: 1,300円 申込方法: 各申込日の朝9時より電話で受付 (板橋区立美術館 03-3979-3251、月曜休館) ①7/4(土)受付開始 ②7/25(土)受付開始



13



14



15



16

絵本をつくる・みる



第26回 夏のアトリエ 「パロゴドー 味わいのある絵本づくり」

専門的な絵本づくりのワークショップです。
7/14(火)~18(土)の5日制 10:00~16:00
講師: 河野ヤラ雅枝 (Yara Kono / イラストレーター、デザイナー / ポルトガル)
通訳: 森泉文美 (本展コーディネーター)
対象: イラストレーター又はイラストレーターをめざす方で、絵本づくりに関心があり、全日程参加できる18歳以上の方
定員: 20名(書類選考あり)
参加費: 26,000円 (別途材料費等がかかる場合があります)
申込方法: 往復はがき(記載事項は当館ウェブサイトでご確認ください)
※締切: 6/19(金) (必着)
※本講座は英語で行い、日本語の通訳が入ります。

展示会

「ニュー・スパニッシュ・ブックスとイタリアの新しい絵本」

スペインとイタリアから届いた多数の絵本を手にとってご覧いただけます。
7/29(水) 13:30~16:30
協力: 在日スペイン大使館経済商務部、イタリア文化会館
参加費無料、申込不要、入室自由

絵本づくりを知る 一大村製本齋藤社長との相談会

製本会社の視点から絵本づくりを考えます。
8/1(土) 14:00~15:30
講師: 齋藤和明 (大村製本株式会社代表取締役社長)
対象・定員: イラストレーターまたはイラストレーターをめざす方で、絵本づくりに関心のある方・30名(先着)
受付: 7/18(土)朝9時より当館ウェブサイトにて受付

ティーンズ・アトリエ

中学生・高校生を対象に、絵本の作り方、イラストやキャラクター作りのコツを学ぶ講座です。
8/5(水) 10:00~16:00
講師: なかむらしんいちろう (絵本作家、日本児童教育専門学校専任講師、女子美術大学非常勤講師)
対象・定員: 中学生及び高校生・12名(先着)
参加費: 3,000円
申込方法: 7/4(土)朝9時より当館ウェブサイトにて受付

1. 寺澤智恵子 (日本) 「待ち合わせ場所へ」 2. アリーチェ・ピアッツォ (Alice Piaggio / イタリア) 「かいぶつたちのおしごと」 3. 丸岡永乃 (日本) 「よこがおひめ」 4. エンリケ・モレイラ (Henrique Moreira / ブラジル) 「おでこにたんこぶ? いえ、たまご」 5. コ・ミンジュ (Minjoo Ko / 韓国) 「犬どろぼう」 6. 楓真知子 (日本) 「ねこの生活」 7. アナベラ・ロペス (Anabella López / アルゼンチン) 「みんなねむっている...わけじゃない!」 8. リュシー・ペノー (Lucie Penaud / フランス) 「プラスチックの風車」 9. ブルーノ・ゾッカ (Bruno Zocca / イタリア) 「休みの日」 10. フェルナンド・アルセ・メネセス (Fernando Arce Meneses / ペルー) 「おもちゃ」 11. アレクサンドラ・ルンデ (Aleksandra Runde / ラトビア) 「雲」 12. アジザ・クメゾヴァ (Aziza Kuchmezova / キプロス) 「本物には入場料はかかりません」 13. マーライ・マリアン (Mariann Máray / ハンガリー) 「いのち」 14. チェン・イー・ジン (Yi Chin Chen / 台湾) 「ブックパス」 15. ルイジ・オリヴァドーティ (Luigi Olivadoti / リヒテンシュタイン公国) 「毎年夏は」 16. エヴェリーナ・マルティ (Eveliina Marty / スイス) 「花はめぐる」